

日医ニュース

2026. 1. 5 No. 1542

日本医師会
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp
<https://www.med.or.jp/>



毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)

- 令和8年度診療報酬改定
改定率は本体プラス3.09%に決定 … 2面
- 「社会保障を守る会緊急集会」… 2~3面
- 城守常任理事参議院厚生労働委員会参考人質疑に出席 … 4面

トピックス

令和8年

年頭所感

公益社団法人 日本医師会

会長 松本 吉郎



りました新オフィスビル「JMA EXTR A」も竣工予定です。

また、昨年4月より、かかりつけ医機能報告制度が施行され、地域における面としてのかかりつけ医機能の更なる発揮に向けた取り組みが始まりました。この1月から3月にかけて、かかりつけ医機能報告制度のG-MISを活用した申請も始まります。地域を面で多くの会員の先生方に知って頂きたいと考えております。

また本年は、2月に冬季オリンピックがイタリアのミラノとコルティナ・ダンペツツオで、6月にサッカーワールドカップ2026がアメリカ・カナダ・メキシコでそれぞれ開催されます。日本選手が大いに活躍されることを期待しております。

さて、昨年は参議院選挙が行われました。

今年は、令和8年度の診療報酬改定が行われますが、その改定率は3・09%となりました。

改定に当たっての基本認識として、まず、日本経済が新たなステージに移行しつつある

中での賃金・物価の上昇、人口構造の変化や

人口減少の中での人材確保、現役世代の負担の抑制努力の必要性が挙げられております。

次に2040年頃を見据えた、全ての地域・世代の患者が適切に医療を受けることができるという極めて厳しい状況の中でしたが、皆

様のご尽力によって、医療・社会保障関係候補者7名のうち、トップの17万4434票余りを獲得することができました。

組織強化につきましては、私が日本医師会長に就任して以来、力を入れて取り組んで参りました。新たな医師会会員情報システム「MAMIS」によって、これまで書類で行って

きた入会・異動等の手続きをWEB上で行えるようになりましたこともあり、今年は更なる会員増に向けて活動を推進して参ります。ご協力頂いております全国の医師会の先生方には改めて深く感謝申し上げます。「MAMIS」につきましては、本格的な運用開始後、さまざまご意見・ご要望を頂いており、順次改善して参ります。

そのための基本方針として、「物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化への対応」「2040年頃を見据えた医療機関の機能の分化・連携と地域における医療の確保・地域包括ケアシステムの推進」「安心・安全で質の高い医療の推進」「効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上」の四つが挙げられています。

そのための基本方針として、「物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化への対応」「2040年頃を見据えた医療機関の機能の分化・連携と地域における医療の確保・地域包括ケアシステムの推進」「安心・安全で質の高い医療の推進」「効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上」の四つが挙げられています。

そのための基本方針として、「物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化への対応」「2040年頃を見据えた医療機関の機能の分化・連携と地域における医療の確保・地域包括ケアシステムの推進」「安心・安全で質の高い医療の推進」「効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上」の四つが挙げられています。

そのための基本方針として、「物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化への対応」「2040年頃を見据えた医療機関の機能の分化・連携と地域における医療の確保・地域包括ケアシステムの推進」「安心・安全で質の高い医療の推進」「効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上」の四つが挙げられています。

騰に対応するとともに、公定価格で運営されている医療機関・介護施設等における就業者約938万人の賃上げが可能となる環境を整えることが不可欠だと考えています。

また、医療機関は、病院、診療所共に一体となって地域を支えており、いずれも必要不可欠です。特に財務省等は、「病院と診療所」「高齢者と若者」「病気の人と健康な人」など、さまざま二項対立で分断を煽つておりますが、それが社会の不安定につながっていきます。社会格差と健康格差を生まないような社会にしていかなければなりません。

保険料は全て国民の健康と生活を支える医療・介護として還元されています。社会保障給付は、医療・介護ニーズの高い高齢者を中心利用されるため、現役世代の社会保険料負担のみに着目した議論になりがちですが、現役世代にとつても、離れて暮らす高齢の親への仕送りや医療・介護を心配することなく安心して働き、能力と適性に応じた場所で活躍できることこそが、子どもの有無にかかわらず現役世代のメリットとなります。

このような課題に対し、医療保険制度を継続可能とするための方策として、高額療養費制度や、高齢者の自己負担のあり方、金融所得の勘案の検討、OTC類似薬の保険給付のあり方、医療保険制度における出産に対する支援の強化等が挙がっております。

その他にも医薬品の安定供給や2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の検討など、医療界には取り組むべき課題が山積しております。日本医師会は、医療界の総力を結集して議論をリードしつつ、活動を進めて参ります。

新しい年が会員の先生方お一人お一人にとって充実した幸多き年となりますことを祈念申し上げ、年頭に当たつてのごあいさつとい

たします。

なお、本年夏頃には、昨年から建設してお日本医師会としては、まずは急激な物価高

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

わが国には、平安時代に宮中医官を務めた丹波康頼が撰した、日本に現存する最古の医学書で、984年に朝廷に献上された「医心方」があります。現存する仁和寺の「医心方」は1952年に、東京国立博物館の「医心方」(半井家本)は1984年に、いずれも国宝となっています。日本医師会では、国宝「医心方」のユネスコ「世界の記憶」への登録を

令和8年度診療報酬改定の改定率が、昨年12月19日に行われた高市早苗内閣総理大臣、片山さつき財務大臣、上野賢一郎厚生労働大臣による協議を経て、24日の片山財務大臣と上野厚労大臣による大臣折衝の結果、本体プラス3・09%とすることが正式に決定された。

分配は今後、中医協で議論されることになる。

改定率決定までに行われた折衝の中では、当初、財務省から前回の改定率を下回る低い数値が示されれるなど、厳しい状況が続いた。

そんな中で、日本医師会では松本吉郎会長を中心執行部が一丸となつ



令和8年度診療報酬改定

改定率は 本体プラス3.09%に 決定

「今後の道しるべ」となる改定に

官、片山財務大臣、上野厚労大臣、城内実内閣府特命担当大臣、松本洋平文部科学大臣、尾崎正直・佐藤啓兩官房副長官を始め、自由民主党の麻生太郎副総裁、鈴木俊一幹事長、有村治子総務会長、小林鷹之政務調査会長、田村憲久社会保障制度調査会長、加藤勝信・後藤茂之・木原誠二各衆議院議員、福岡資麿参議院議員など、政府与党の

官僚、公務員、医療部会及び医療保険部会での議論を踏まえて決定した『改定の基本的観点と具体的方向性』に基づいて、中医協で具体的な配分の議論が行われることになるが、診療報酬だけではなく、税制、補助金、支援金、更には文科省からの大学病院への運営費交付金及び私学助成金など、あらゆる手段もフル活用して、国民の生命と健康を守るために、

界の窮状とその支援の必要性を理解してもらいための協力を要請。それらの努力の成果が実を結び、今回3%を超える本体のプラス改定につながった。

**医療界の窮状を理解い
ただいたことに感謝の
意を表明—松本会長**

この結果を受けて、昨
年12月24日に記者会見を行った松本会長はまことに

医療部会及び医療保険部会での議論を踏まえて決定した『改定の基本的観点と具体的方向性』に基づいて、中医協で具体的な配分の議論が行われることになるが、診療報酬だけではなく、税制、補助金、支援金、更には文科省からの大学病院への運営費交付金及び私学助成金など、あらゆる手段もフル活用して、国民の生命と健康を守るために

る「真水」での対応が必要だと強く主張してきたことに言及。「公定価格で運営されている医療・介護分野は、賃金上昇・物価高騰を価格に転嫁することができず、経営状況が著しく逼迫しているが、今回、通常の改定とは別枠で賃上げ、物価対応のための財源を一定程度確保頂いた」として、改めて感謝の意を示した。

また、今後については

松本会長

「社会保障を守る会 緊急集会」に出席し 医療機関の窮状を踏まえた大幅なプラス改定を求める

松本吉郎会長は昨年12月18日、自由民主党本部で急きよ開催された「社会保障を守る会 緊急集会」に出席し、医療機関の窮状を踏まえ、令和3年度診療報酬改定が大幅なプラス改定となるよう



具体的には、（1）医療機関が経営を安定させ物価高騰に対応できるよう、離職防止、人材確保を可能とする貢上げ環境を整える、（2）令和8年度診療報酬改定において、現役世代の保障

補正予算はあくまで「現状の赤字補填」であるとし、貢上げや物価高騰の本格的に対応することを見据え、令和8年度診療報酬改定、更には非改定年である介護・障害福祉サービス等報酬改定において、現場の思いを確実に反映するための対応を要請。

二十九、新民主主义的经济纲领

医師の求人・求職は、 日本医師会ドクターバンク!

医師のライフステージやキャリアプランと、医療機関の求人条件を専任の担当者が丁寧にコーディネートいたします。



日本医師会ドクターバンク | <https://imadbk.med.or.jp>



『日本医師会ドクターズ・シナの特徴』

- すべての医師・医療機関がご利用可能!**
日本医師会の会員・非会員を問わずご利用いただけます。
 - 地域ドクターバンクとの強力なネットワーク**
都道府県医師会や行政の職業紹介事業所と連携しています。
 - 年代・性別を問わず登録医師多数!**
全国各地の医師と医療機関を繋ぎます。
 - 登録から成立まで無料でサポート!**
成功報酬のみかかりません。費用を抑えた人材確保を進められます。



田村衆議院議員（社会保障を守る会代表）



鈴木自民党幹事長



松本会長

料負担抑制にも配慮しつつ、令和7年度補正予算に盛り込まれた医療機関等への支援効果を減ずることなく継承し、その上で今後の物価上昇・賃金増を反映し、デフレ下とは異なる新たな経済動向にふさわしい大幅なプラス改定とする。また、介護・障害福祉サービス等報酬改定においては、介護・障害福祉従事者について、他産業平均と遜色ない賃金水準となるよう、令和7年度補正予算を上回る賃上げを行う。また、介護・障害福祉サービス等



後藤衆議院議員



加藤衆議院議員

事業者の経営の安定に確実につながるよう、引き続き物価高騰への対応を行う、(4) 令和9年度は介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定の実施年であり、診療報酬についても、賃金・物価上昇等を踏まえ、報酬を機動的に調整する対応が可能となるような仕組みを実施する——の4項目の実現を強く求めている。

今回の緊急集会は、自民党国會議員と関係団体が一堂に集まつた上で決議を採択し、4項目の実現を国に訴えることを目的として、急ぎよ開催されたにもかかわらず、会場には800人を超える関係者が集結するとともに、全国各地の関係者約1200人がオンラインで配信で緊急集会を見守った。

緊急集会は石田昌宏議院議員と自見はなで、議院議員の司会で開幕。冒頭あいさつした社会障を守る会代表の田村久衆議院議員は、改定に向けた正念場を決意に向けて正念場を踏まえている現状を踏まえ、「現場の声をぜひ官邸届けて、財務省をねじねじなればならない」と強調。更に医療・介護福祉分野で働く人が約40万人になったことにも触れ、「この分野の金が上がらなければ、本の働く人々の所得が上がるわけがない。我々民衆議院は腹をくって翻い抜く」と力



自見參議院議員



福岡参議院議員

続いて、鈴木俊一自民院議員、加藤勝信衆議院議員、福岡資麿參議院議員が登壇し、それぞれ激励のあいさつを行った。

鈴木幹事長は、「物価・賃金上昇の影響もあり、全国の医療機関、薬局、介護サービス事業所等では大変厳しい経営状況が続いている」と指摘。大事なことは経営の安定や現場で働く幅広い職種の賃上げに確實につつなげることだとし、「そのため診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定において物価・賃金上昇を適切に反映させるなど、十分な改定率を確保しなければならない。大切な

医療機関、薬局、介護サービス事業所等を守り抜くために全力で取り組んでいく」と意気込んだ。

後藤議員は、今「賃金・物価が上がるようになつて、より良い方向が見えきている一方で、その分をしっかりと公定価格に上乗せしなければ、医療・介護・福祉の活動を支えることはできない」とした上で、「令和6・7年度でこれだけ赤字が出たため、令和8年度は、その分をしっかりと勘案した改定を行っていきたい。皆で突破していく」と呼び掛けた。

加藤議員は、賃金上昇や物価高騰は一時的な状況ではないとした上で、「デフレから脱却し、賃上

き場がない人が出てしまっては、何のための社会保障制度なのか」とも述べ、目標達成に向けて力を合わせて闘っていく姿勢を強調した。

その後は医療・介護・福祉の関係団体の代表者らが決意を表明。白衣を着用し、赤いはちまきを巻いてあいさつした松木会長は、公定価格が上が

福岡議員
は、これま
でに「地域
を守る医療・介護・福祉
の経営が成り立たなくな
り、崩壊の危機にある
との声を多く聞いてきた
ことに言及。「地域で医
療・介護・福祉を担う機
関や施設がよくない、不

げを進めていく流れの中で、その流れをしっかり反映した改定にする必要性に言及。今回の中での改定でその基盤を作っていくければ、医療を始めたとした社会保障が崩壊してしまうとの懸念も示し、「この強い危機感をぜひ共有していくたい」と訴えた。



緊急集会終了後、呼び掛け人の自民党国會議員が高市総理に決議立を提出

冒頭、城守常任理事は、医療機関の経営が大変厳しい状況にあることを踏まえて、令和7年度補正予算案が取りまとめられたことに謝意を示した。

まず、令和5年度と令和6年度の医療機関の経営状況に言及。病院の赤字割合が令和6年度に掛けて増加しており、無床診療所と有床診療所も経営状況が悪化しているとした他、経常利益率につ

れた医療機関機能は複数の選択を可能にする②病床機能報告の「回復期」を「包括期」に名称や定義を見直す③予測と異なる実態を踏まえ「現状投影型モデル」から「新たな推計」に変える④直近の実績を踏まえた修正を行う⑤医療機関の健全経営を担保する——といった視点が重要とし、「今回は入院、外来、在宅、更には介護を含めた地域

解決に向けては①公立・私立病院の管轄者要件②医師少數地域の開業支援等③国レベルの医師マッチング支援④保険診療実績要件⑤地域医療貢献の枠組み推進⑥医師偏在対策基金の創設

医療法等の主な改正点

1. 地域医療構想の見直し等

- ① 地域医療構想について、2040年頃を見据えた医療提供体制を確保するため、以下の見直しを行う。
 - 病床のみならず、入院・外来・在宅医療、介護との連携を含む将来の医療提供体制全体の構想とする。
 - 地域医療構想調整会議の構成員として市町村を明確化し、在宅医療や介護との連携等を議題とする場合の参画を求める。
 - 医療機関機能（高齢者救急・地域急性期機能、在宅医療等連携機能、急性期拠点機能、専門等機能等 等）報告制度を設ける。
 - ② 「オンライン診療」を医療法に定義し、手続規定やオンライン診療を受ける場所を提供する施設に係る規定を整備する。
 - ③ 美容医療を行う医療機関における定期報告義務等を設ける。

2. 医師偏在是正に向けた総合的な対策

- ① 都道府県知事が、医療計画において「重点的に医師を確保すべき区域」を定めることができるととする。
　　保険者からの拠出による当該区域の医師の手当の支給に関する事業を設ける。
 - ② 外来医師過多区域の無床診療所への対応を強化（新規開設の事前届出制、要請勧告公表、保険医療機関の指定期間の短縮等）する。
 - ③ 保険医療機関の管理者について、保険医として一定年数の従事経験を持つ者であること等を要件とし、責務を課すこととする

3. 医療DXの推進

- ① 必要な電子診療録等情報（電子カルテ情報）の医療機関での共有等や、感染症発生届の電子カルテ情報共有サービス経由の提出を可能とする。
 - ② 医療情報の二次利用の推進のため、厚生労働大臣が保有する医療・介護関係のデータベースの仮名化情報の利用・提供を可能とする。
 - ③ 社会保険診療報酬支払基金を医療DXの運営に係る母体として名称、法人の目的、組織体制等の見直しを行う。

また、厚労大臣は、医療DXを推進するための「医療情報化推進方針」を策定する。その他公費負担医療等に係る規定を整備する。



坂元常任理事

参議院厚生労働委員会の参考人質疑に出席し 「医療法等の一部を改正する法律案」に対する 考え方を説明

② 「オンライン診療」を医療法に定義し、手続規定やオンライン診療を受ける場所を提供する施設に係る規定を整備する。

③ 美容医療を行う医療機関における定期報告義務等を設ける。

④ 「オンライン診療」を医療法に位置付けることによる規制等を強化した。

⑤ 口減少のフェイオンオンライン診療に使用する効率性のみを対象になるとし、医ではなく、医業、特に安全性をしっかりと担保していくべきであるとの見方を示した。

日本医師会が実施した「紙カルテ利用の診療における電子化対応可能性に関する調査」の結果も紹介

54・2%が電子カルテの導入不可能（紙カルテのまま）と回答したことにつれ、「電子カルテを義務化していくと、これに 対応できない先生は恐く診療をやめることにならる。地域医療を守っていく医師が少しでもそちら

冒頭のあいさつで松本吉郎会長は、病院も診療所も、民間・公立・公的所を問わず、経営が厳しい現状があるとした上で、「将来の医療提供体制のためには、現在の危機的ためには、現在の危機的

全国知事会と日本医師会との意見交換会

「地域医療提供体制の維持・確保について」をテーマに開催 一両団体で問題意識と方向性を共有



これが重要と考えている」と述べ、地域医療の確保・充実に向

けて引き続き、医師会と協力し、取り組んでいく姿勢を示した。

意見交換では、まず、茂松

茂人副会長が、医療機関の窮状を打破するため

に医療界が一体となって活動し

てきたことを紹介した上で、令

和7年度補正予算案編成に向けた協力に対して

謝意を示しつつ、あくまでも賃金・

物価の高騰等が起きた過

と主張。「地域に根差して地域医療を担っている

病院や診療所が倒れた

ら、住民は地元から立ち去らざるを得なくなり、

地域社会の崩壊にもつながりかねない」と述べ、

住民や患者地域医療を守っていくためにも、今

回の意見交換会で全国知

事会と危機感を共有する

意義は大きいとした。

続いてあいさつした阿

部守一全国知事会長／長

野県知事は、「全国の医

療機関の経営が非常に厳

しい状況にあることは把

握しており、地域医療を

守り、持続可能な医療提

供体制を構築するには、

高額な紹介手数料への対

策——に取り組む必要性

を強調し、2040年を

とした。

「全国知事会と日本医師会との意見交換会」が

昨年12月10日、「地域医療提供体制の維持・確保について」をテーマに、

WEB会議で開催された。

冒頭のあいさつで松本吉郎会長は、病院も診療

所も、民間・公立・公的

所を問わず、経営が厳しい

現状があるとした上で、「将来の医療提供体制のためには、現在の危機的

ためには、現在の危機的

ため

令和7年度都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会

普及・促進の方向性について意見交換



いて、昭和59年

の国自動車損害賠償責任保険審議会

の答申で「全

国的に浸透し、定着した段階で制度化を図る」との方針が示され

た一方、平成27年に47都道府県で採用さ

れて以降も、各地域の採用状況にばらつきや停滞が見

られると指摘。前回の三

者〔日本医師会、日本損害保険協会、損害保険料率算出機構〕共同の連絡協

議会において案内した新

基準に係る調査の結果を

踏まえて、今後の方針を

対応方針の共有を図るとともに、制度化に向けた普及・促進の方向性について意見交換を行うことを目的として、昨年11月28日にWEB会議で開催された。

連絡協議会は細川秀一

常任理事の司会で開会。

冒頭あいさつした松本

吉郎会長（代読・茂松茂

人副会長）は新基準につ

いて、採用率は各地域でば

らつきがある他、どの地

域も時系列で見ると採用

率が横ばいであることに

言及。都道府県医師会に

対して、採用状況の確認

と更なる周知を要請し

た。

一方、新基準の名称に

ついて、30年以上前にで

きた基準を「新基準」と

称するのは実態にそぐわ

ず、誤解を招くとの日本

医師会労災・自賠責委員

会からの指摘を踏まえ、

自賠責審議会答申におけ

る「診療報酬基準案」と

いう名称に沿って、「自

賠責診療報酬基準」と呼

称を統一することを提

案。現時点では損保業

界と統一した呼称ではな

く、あくまでも医師会と

しての呼称」とした上で、

その周知への協力を呼び

掛けた。

続いて、伊澤和耶損保

協会損害サービス企画部

会長が新基準の採用状況について、直近2年で

は全国での新基準の平均

採用率は6割程度であ

る。

調査対象は令和5年度

昨年11月に実施した①厚

生労働省保険局保険課診

療報酬改定DX推進室等

②金融庁・国土交通省

会損害サービス企画部長

について

三者協議会の運営改善

について

三者協議会の運営

△ 後も、従来の紙の予診票による接種・請求ができる、デジタル予診票を紙に打ち出して利用することも可能であるとした。

続いて、倉吉紘子同課予防接種対策推進官が、予防接種事務のデジタル化の内容について、住民がマイナポータル上で入力した予診票（デジタル予診票）を医療機関内のタブレットやパソコンなどの端末で確認して予防接種を行い、医療機関が端末に接種記録の入力を行うこと、そのままオンラインで費用請求することができる仕組みであることを説明。デジタル化により、（1）自治体・医師会等協力団体・医療機関の業務効率化、（2）住民の利便性向上、（3）データ利活用によるワクチンの有効性・安全性の向上——が期待できるとしている。

△ また、医療機関には、タブレットまたはパソコンを用いる「医療機関アプリ」と、電子カルテ端末やレセコン端末等を用いる「予防接種サイト」のどちらかを選択しても、医療機関アプリではインターネット、予防接種サイトではオンラインで予防接種記録の入力を確認ネットワークを使用することを解説。人口の少ない自治体の医療機関や予防接種の機会の少ない医療機関では、予防接種サイトを利用するなど、接種対象者数や医療機関の体制に合わせて選べるとした。

△ その上で、「全てをデジタルに移行するには」、個人確認を経て接種する予定となる23自治体の円滑な実施に向けて協力を求めた。

△ また、従来どおり、紙の予診票を医師会や自治体に送付することも可能なので、自治体に相談頂きたい」と改めて述べた。

△ また、デジタル予診票を紙に出力する場合は、接種完了後に予防接種サイトから接種記録の登録を必要となるが、その入力が難しい医療機関においては、出力した紙の予診票を医師会に送付し、入力を委託することもできるようシステムを開発中であるとした。

△ 一方、被接種者には、マイナポータルからスマートフォンへ勧奨通知が届き、ログインして予診票に入力するとともに、医療機関の受付でマイナバーカードと顔認証付のカードリーダー等による本人確認を経て接種する流れであることを紹介。更に接種記録をデジタルで登録した場合は、予診票を医師会や自治体に送付することも可能なので、自治体に相談頂きたい」と改めて述べた。

△ その後の質疑応答では、事前に都道府県医師会から寄せられていた質問の他、WEBで寄せられた質問や懸念に厚労省が回答。その中では、「紙とデジタルの併存により医療機関の事務負担の増大が懸念される」「メールによる接種奨励では、マインド効果が弱く、接種率が低下してしまうのではないか」「セキュリティ面についても十分な整備が必要である」「医療機関の規模も考慮しつつ、新たな機器の購入費用を補助して欲しい」「定

期接種だけではなく、任意接種の記録も保存していいくことが重要である」など意見が出され、厚労省は現場に混乱が起きないよう鋭意検討し、詳細が整理でき次第、改めて説明する姿勢を示した。

△ 田中彰子（こじも）家庭育成局母子保健課長は、「（1）プレコンセプションケア、（2）人工妊娠中絶をめぐる最近の動き、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その他の議題では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（2）相談支援体制の充実をめぐる最近の動き」について解説。（1）に

△ その後の討議では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その他の議題では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その後の討議では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その後の討議では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その後の討議では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その後の討議では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その後の討議では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その後の討議では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

「多様化する社会の中で 母体保護法指定医師が考えるべきこと」を開催



テーマに開催



日本医師会
LINE公式アカウントの
登録を!!

日本医師会ではLINE公式アカウントを開設しています。

「必要な方に適切な情報を届ける」をモットーとして、友だち追加して頂いた先生方には、その際に行ったアンケート結果を基に、講習会やシンポジウムの案内などの情報を定期的にお送りしています。

ぜひ、ご登録をお願いします。



△ 田中彰子（こじも）家庭育成局母子保健課長は、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

△ その後の討議では、「（1）相談支援体制の充実、（2）専門的な相談支援体制の強化——の3点を柱とした「推進5カ年計画」を令和7年5月に策定し、（3）旧優生保護法に関する最近の動き」について解説。（1）に

